

後期臨床研修プログラム（神経内科）

1. 後期臨床プログラム（神経内科）

2. プログラムの目的と特徴

幅広い内科的基盤をもち、同時に神経内科特異の疾患を診ることの出来る医師を目指す。

3. 取得できる専門医

日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本神経学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本頭痛学会専門医
日本リハビリテーション学会専門医

4. 専門医取得の要件

学会に所属すること。当科の後期研修を行うこと。学会の実施する専門医試験に合格すること。

5. プログラムの研修内容

【到達目標】

<研修1年目>

一般診療（外来、入院）を行ないながら、種々の疾患の系統的診断法、神経内科的初歩的検査に習熟する。リハビリテーション医学を実際的に勉強する。患者・家族へのインフォームド・コンセントのあり方、医療事故の防止と対処に対する基本的な考えを学習する。学会活動は症例報告を中心に行なう。神経生理学（脳波、誘発検査）を3ヶ月研修する。神経生理学の講習を受講する。

神経心理学を実習する。日本内科学会認定医試験を受験のための準備をする。

<研修2年目>

神経病理学の講習、研修に参加する。神経放射線学の講習を受講する。

初期臨床研修医の指導を行なう。

<研修3年目。研修4年目>

神経内科後期研修医の後輩に指導を行なう。

臨床研究を日本神経学会に発表し、論文をまとめる。神経内科専門医試験、日本内科学会認定総合内科専門医試験受験の準備を行なう。学位取得希望者は臨床研究を行い、論文を作成する。

6. 指導医と指導医が取得している専門医・認定医資格など

山根清美（日本内科学会認定総合内科専門医・認定内科医、日本神経学会専門医、
日本頭痛学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本リハビリテーション学会
臨床認定医・産業医、アメリカ内科学会フェロー、医学博士）

白田明子（日本内科学会認定総合内科専門医・認定内科医、日本神経学会専門医、
日本頭痛学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本リハビリテーション学会
臨床認定医・産業医、医学博士）

飯國洋一郎（日本内科学会、認定内科医、日本神経学会専門医）

森松暁史

門脇 傑（日本内科学会認定内科医、日本神経学会専門医、医学博士）

佐々木格

7. メッセージ

太田熱海病院の神経内科は昭和58年（1983年）に福島県で最初に設立された。診療、臨床研究、指導、神経内科疾患の啓蒙活動（医師会、地域住民など）を柱に運営されている。扱っている神経内科疾患は神経内科急性期疾患（脳血管障害など）、神経難病（パーキンソン病など）、機能性神経疾患（頭痛、てんかんなど）の他、内科疾患に関連した神経疾患（Medical Neurology）などである。目指している神経内科医は幅広い内科的基盤をもち、同時に専門的な神経内科疾患を診る事の出来る医師である。

年間の学会活動は国際学会を含め発表（症例報告、研究報告）15題以上、論文（症例報告、原著、総説）10篇以上を毎年、目標としている。